

## ■集中治療科

### 1. 2021年の目標及び方針

- ・診療機能の維持

COVID-19 病棟オープンに伴い ICU は 12 床運営とし、これを維持する。

状況に応じフルオープン 14 床を目指す。

- ・COVID-19 診療の効率化

ICT の活用・ビデオシステムによる遠隔 ICU システムの導入を行い、病院としての役割を果たしながらスタッフの負担軽減を目指す。

- ・重症部門システム PrescientICU の機能改善

診療機能改善をベンダーと共に継続していく。JIPAD 参加を目指す。Clinical DataManager 利用開始へ向けての機能改善要望を行う。

- ・情報発信

コロナ禍で 2020 年に行えなかった集中治療セミナーを開催する。ブログを充実させる。

### 2. 2020 年度の評価

2020 年度は、各部署と共同して COVID-19 の受け入れ態勢を整え、フェーズが変化しても準備して対応することができた。9 月からは専用病棟である K7HCU がオープンし、A2 ICU とのリソースのバランスをとる必要があった。第 3 波では卒後研修センターから初期研修医をはじめとする有志スタッフの協力もあり、重症部門の機能を維持することができた。

部門システムについては、ベンダーの FUJI フィルムメディカル IT ソリューションズと協議を重ね、11 月 2 日より運用を開始した。指示系統が整い、記録業務の負担が大幅に改善した。機能改善・データ活用等について継続してディスカッションを行なっている。

2020 年度は、COVID-19 対策も踏まえ、多職種カンファレンスは全て Teams 会議で行なった。その他教育カンファレンスも Web 会議とし、一部院内他部署および院外とも内容を共有し情報発信を行なった。

COVID-19 感染拡大のため、MET 対応の看護師メンバーの充足は行えなかった。COVID-19 病棟や疑いの入院症例への MET 対応について検討を行なった。

### 3. 科（課・室・委員会）の年間活動内容（試みや特徴など）と紹介

#### <特徴>

亀田総合病院集中治療科は 2013 年 4 月 1 日に発足し、特定集中治療室、

専門医研修施設認定を受けた新しい診療科です。集中治療科では外科・内科・救急を問わず、多種多様な疾患による重症な患者様の治療を行っています。

集中治療室で治療対象となる患者様は、一つの臓器にとどまらず、全身に及ぶ複雑な病状を呈するため、各専門分野に関する知識・技術だけでなく、集学的な医療が必要となります。当院集中治療室では集中治療科部長 林淑朗、看護師長 山田和栄のリーダーシップの下、集中治療室スタッフと各専門科医師が協力し合

い、病気それ自体だけでなく、患者様の心情、生活背景を考慮した深く、幅の広い医療を提供しています。集学的な医療を行うために、医師、看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士、作業療法士、臨床工学士、栄養士等、多職種と共に日々カンファレンスを行い、職種を越えて議論し一人の患者様にとって最適な治療方針を決定し、これを実践しています。

#### <治療の質>

世界標準、かつ最新の知見を意識した、質の高い治療を患者様の背景にあわせて提供しています。

#### <体制>

患者様の容態をいち早く察知できるよう看護師が1:2でケアを行い、医師はフロアに常駐し24時間365日患者様の緊急事態に対応する体制が整っています。

#### <トレーニング>

当科では朝夕毎日行われる指導医によるラウンド、定期的に行われるジャーナルクラブや講義を通して、今日の臨床エビデンスを意識した集中治療の教育も行っています。後期研修医・フェローは新旧問わず重要な論文を多数読み、知識のアップデートを行っています。

また、看護師、薬剤師、理学療法士、臨床工学士との勉強会も行い、双方向のskill upを目指しています。臨床研究についてもICUデータベースを用いての単施設観察研究や、国内外の多施設共同研究への参加も積極的に行っており、エビデンスの構築にも携わっています。

#### 4. 2020年度実績（症例件数や手術実績等）

ICU入室数：1367例

人工呼吸器症例：201例 腎代替療法施行例：131例

#### 5. 学術関係

##### 1) 原著論文

著者：Shinji Okabayashi, Hajime Yamazaki, Ryohei Yamamoto, Keisuke Anan, Katsuyoshi Matsuoka, Taku Kobayashi, Shinichiro Shinzaki, Yusuke Honzawa, Yuki Kataoka, Yasushi Tsujimoto, Norio Watanabe  
タイトル：Certolizumab pegol for maintenance of remission in Crohn's disease

雑誌名：Cochrane Database of Systematic Reviews

巻：10

号：

開始頁：

終了頁：

著者：Motoki Fujii, Toshiyuki Karumai, Ryohei Yamamoto, Eri Kobayashi, Kenta Ogawa, Mayuko Tounai, Jeffrey Lipman, Yoshiro Hayashi

タイトル：Pharmacokinetic and pharmacodynamic considerations in antimicrobial therapy for sepsis

雑誌名：Expert opinion on drug metabolism & toxicology

巻：16

号：5

開始頁：415

終了頁：430

著者 : Hideto Yasuda, Ryohei Yamamoto, Yoshiro Hayashi, Yuki Kotani, Yuki Kishihara, Natsuki Kondo,

Kosuke Sekine, Nobuaki Shime, Keita Morikane, Takayuki Abe, Toru Takebayashi, Mikihiro Maeda, Takuya Shiga, Taku Furukawa, Mototaka Inaba, Sachito Fukuda, Kiyoyasu Kurahashi, Sarah Murakami, Yusuke Yasumoto, Tetsuro Kamo, Masaaki Sakuraya, Rintaro Yano, Toru Hifumi, Masahito Horiguchi, Izumi Nakayama, Masaki Nakane, Kohei Ota, Tomoaki Yatabe, Masataka Yoshida, Maki Murata, Kenichiro Fujii, Junki Ishii and on behalf of the AMOR-VENUS study group

タイトル : Occurrence and incidence rate of peripheral intravascular catheter-related phlebitis and complications in critically ill patients: a prospective cohort study (AMOR-VENUS study)

雑誌名 : Journal of intensive care

巻 : 9

号 : 3

著者 : Tomoko Fujii, Andrew A. Udy, Adam M. Deane, Alistair Nichol, Rinaldo Bellomo, Ary Serpa Neto, Khaled El-Khawas, Naorungroj Thummaporn, Lisa Paxton, Timothy Fazio, Robert Short-Burchell, Allison Bone, Hannah Bergin, Sarah Jones, Jennifer Holmes, John Santamaria, Chloe Peppin, Yahya Shehabi, Ravindranath Tiruvoipati, Victor Ge, Lee-Anne Clavarino, Chelsea Ong, Owen Roodenburg, Steven Hirth, Aiko Tanaka, Naoya Iguchi, Shinshu Katayama, Jun Shima, Fumie Takatsudo, Kumie Suzuki, Shinjiro Saito, Toshiyuki Karumai, Yoshiro Hayashi, Yu-Chang Yeh, Chong-Jen Yu, Shih-Chi Ku, Nai-Kuan Chou, Ting-Yu Hu, Kuang-Hua Cheng, Chao-Lun Lai, Hsiao-En Tsai, Kuo-Ching Yuan, An-Yi Wang, Shih-Feng Huang, Wen-Jinn Liaw, Kuo-Chen Cheng, Chin-Ming Chen & Bor-Jen Lee

タイトル : Incidence and management of metabolic acidosis with sodium bicarbonate in the ICU: An international observational study

雑誌名 : Critical Care

巻 : 25

号 : 1

開始頁 : 45

終了頁 :

## 2) 商業誌等

著者 : 山本良平

タイトル : 酸素供給の生理学: 1 回拍出量, 心拍数, 心拍出量, ヘモグロビン濃度から読み解く

雑誌名 : Intensivist= インテンシヴィスト

巻 : 12

号 : 1

開始頁 : 103

終了頁：109

著者：山本良平

タイトル：ICU における臨床研究の今と未来： ICU における臨床研究で今知っておくべきこと（特集 集中治療の今と未来）

雑誌名：Intensivist= インテンシヴィスト

巻：12

号：4

開始頁：783

終了頁：797

### 3) 学会・研究会

発表者：桂井理恵

タイトル：Prevotella buccae 菌血症から食道穿孔を診断した上行置換術後の症例

学会名・イベント名：日本集中治療医学会 第4回関東甲信越支部学術集会

発表日：9/6/2020

発表者：桂井理恵

タイトル：病態に鉍質コルチコイド反応性低ナトリウム血症が関与していた症候性低ナトリウム血症の症例

学会名・イベント名：第48回日本集中治療医学会学術集会

発表日：2/12/2021

発表者：小谷祐樹 林淑朗

タイトル：COVID-19 に抗凝固療法は必要である

学会名・イベント名：第48回日本集中治療医学会学術総会

発表日：2/12/2021

発表者：Yuki Kotani, Sungwon Na, Jason Phua, Nobuaki Shime, Tatsuya Kawasaki, Hideto Yasuda, Atsushi Kawaguchi

タイトル：A Cross-Sectional Survey of the Research Environment in Critical Care in Japan, South Korea, and Singapore

学会名・イベント名：33rd Annual Congress of European Society of Intensive Care Medicine

発表日 12/6/2020